

みらいプロジェクト

「訪れたいまち」、「住みたいまち」、「働きたいまち」

1 プロジェクトの構成

2017(平成29)年5月21日に開催した「第1回KIRISHIMAみらいトーク」において、参加者同士で「まちの将来像」について語り合いました。

本プロジェクトは、その語り合いの内容や第二次霧島市総合計画のリーディングプランである「霧島市ふるさと創生総合戦略※1」の基本目標を踏まえ、「訪れたいまち」、「住みたいまち」、「働きたいまち」の3つのテーマで構成しています。

これらは、本市の魅力を外に発信し、「地域ブランド力※2」を高める重要な取組であることから、シティプロモーション※3と連動しながら、戦略的かつ重点的な展開を図ります。



注釈

※1 霧島市ふるさと創生総合戦略 / 2060年の人口目標を13万人とし、「I まちを元気にする、人を豊かにする産業づくり」、「II 訪れたい、住みたいまちづくり」、「III 幸せな家庭づくりを支える環境づくり」、「IV 暮らしやすい、暮らしたくなる地域づくり」の4つの基本目標を掲げ、これらを推進するための具体的な施策をとりまとめた戦略。

※2 地域ブランド力 / 地域を主に経済的な側面から捉えたときの、生活者が認識する様々な地域イメージの総体。

※3 シティプロモーション / 地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を創出し、地域内外に効果的に訴求し、それにより、人材・物財・資金・情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと。

基本構想に掲げる「まちづくりの将来像」を実現していくためには、このまちに暮らす人が、生まれ育った郷土に誇りを持ち、ずっと住み続けたいと思えるように、また、更に多くの人がこのまちを訪れることを目指し、本市の強みに目を向け、新しい視点を示しながらまちづくりを進めていくことが求められます。

本プロジェクトは、「本市を取り巻く社会環境の変化」や「各施策の現状と課題」を踏まえ、26の施策の枠組みを超えて重点的に取り組むものであり、分野横断的な取組により効果的な政策展開を図ることを目的としています。

2 プロジェクトの取組

本プロジェクトの実施に向け、各年度において、事務事業の選択や再構築を行います。

また、プロジェクトの推進に当たっては、必要に応じ、組織横断的な連携を図るとともに、産官学^{※4}一体となった推進体制を構築します。

3 成果指標

プロジェクトの成果を測るモノサシとして、次の6つの成果指標を設定します。

	指標名	現状値 (年・年度)	目標値 (2022年・年度)
A	霧島市が住みやすいと感じる市民の割合	77.1% (2017)	82.0%
B	霧島市に住み続けたいと感じる市民の割合	78.6% (2017)	83.0%
C	合計特殊出生率 ^{※5}	1.65 (2016)	1.84
D	高校卒業時の地元就職率	30.6% (2016)	35.0%
E	大学卒業時の地元就職率	10.6% (2016)	23.0%
F	移住者数	178人 (2016)	220人

注釈

※4 産官学 / 産業界、国や自治体、大学や研究機関の総称。

※5 合計特殊出生率 / ひとりの女性が一生の間に出産する子どもの平均人数を推定する値で、15歳から49歳までの女性の出生率を合計したもの。人口統計上の指標として将来の人口予測などに用いられている。